

助動詞(暗記表) ★これをカンペキに暗記しろよ!

サ未 四已	連体形 「の」「が」	体言	連体形 体言等	終 止 形						連 用 形						未 然 形										接 続								
				○ラ変型には連体形に接続○																														
り	ごとし	たり	なり	なり	めり	らむ	まじ	らし	べし	けむ	たし	たり	ぬ	つ	けり	き	まほし	まし	むず	む	じ	ず	しむ	さす	す	らる	る	語						
ら	(ごとき)	たら	なら	○	○	○	まじから	(まじく)	○	べから	(べく)	○	たから	(たく)	たら	な	て	(けら)	せ	まほしから	(まほしく)	(ませ)	ましか	○	○	○	ざら	(ず)	しめ	させ	せ	られ	れ	未然
り	ごとき	と たり	に なり	(なり)	(めり)	○	まじかり	まじく	○	べかり	べく	○	たかり	たく	たり	に	て	○	○	まほしかり	まほしく	○	○	○	○	ざり	ず	しめ	させ	せ	られ	れ	連用	
り	ごとし	たり	なり	なり	めり	らむ	○	まじ	らし	○	べし	けむ	○	たし	たり	ぬ	つ	けり	き	○	まほし	まし	むず	む	じ	○	ず	しむ	さす	す	らる	る	終止	
る	ごとき	たる	なる	なる	める	らむ	まじかる	まじき	らし	べかる	べき	けむ	たかる	たき	たる	ぬる	つる	ける	し	まほしかる	まほしき	まし	むずる	む	じ	ざる	ぬ	しむる	さする	する	らるる	るる	連体	
れ	○	たれ	なれ	なれ	めれ	らめ	○	まじけれ	らし	○	べけれ	けめ	○	たけれ	たれ	ぬれ	つれ	けれ	しか	○	まほしけれ	(ましか)	むずれ	め	じ	ざれ	ね	しむれ	さすれ	すれ	らるれ	るれ	已然	
れ	○	たれ	なれ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	たれ	ね	てよ	○	○	○	○	○	○	○	○	ざれ	○	しめよ	させよ	せよ	られよ	れよ	命令	
存続・完了	比況	断定	断定・存在	伝聞・推定・伝聞推定	婉曲推量	現在推量	打消推量・打消意志・ 打消当然・不可能・ 禁止	確実推量	当然・意志・可能・ 当然・適当・命令	過去推量	希望	存続・完了	強意・完了	過去伝聞・過去詠嘆	体験過去	希望	反実仮想・推量・ ためらい	婉曲・意志・推量・ 適当・仮定・勧誘	打消推量・打消意志	打消	使役・尊敬	自発・可能・ 受身・尊敬・	意味											

助動詞まし

まし…(反実仮想・推量・ためらい) ↓ 未然形
に接続

まし	ましか (ませ)	○	まし	まし	ましか	○	反実仮想 推量 ためらい
----	-------------	---	----	----	-----	---	--------------------

- ① 反実仮想…(〜ダツタラ…ダロウニ)
(現実と反対のことを仮に想像してみるという意味)
- ② 推量…(〜ダロウ・〜ソウダ)
- ③ ためらい…(〜シヨウカシラ)

ましかばーまし
(ませばーまし) (モシ)〜ダツタラ…ダロウニ
せばーまし(和歌のみ)

右の三つの形は絶対暗記(空欄補充問題でよく出る)

※「疑問語・や・かーまし」はためらいの意志(〜シヨウカシラ)

・これに何を書か(まし)

(〓これに何を書こうかしら)

・いかにせ(まし)と思し煩ひて

(〓どのようなにしようかしらと思い悩んで)

・何心なきほどにやゆづりきこえ^まし^し〔源氏物語〕

(Ⅱ(姫君が)物心もついでいない時分に(紫の上に)おゆ
ずり申し上げようかしら)

・なほ忍びてや迎へ^まし^し〔源氏物語〕

(Ⅱやはり内々で(紫の上を須磨に)迎えようかしら)

※また「未然形+ば」でも反実仮想になる(その場合下に
「ものを」が来る場合が多い)

※「ましかば」「ませば」「せば」の部分^を反実仮想、下
の「まし」の部分^を推量と呼ぶことが多いことや、中
世(鎌倉・室町)以降に「む」とほぼ同じ意味に誤用さ
れる場合が多いため、②の推量の意味を載せたが、基
本的には「まし」は反実仮想と覚えておこう